

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス いきいきっ子クラブ		公表日		令和8年2月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		配慮が必要な児に対しての個室の提供なども含め、ゆとりをもった空間を保障しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	ご利用児の送迎時に手薄になる事がまれにありますが、送迎人員の配分を工夫したり、過ごし方や場所を配慮したりしています。	長期休暇時に配置数以上必要だと思われる時があります。しかし、そのような場合は、アルバイトを雇ったりボランティアを募集したりして安心安全に活動できるよう調整しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		自発的に確認ができるツールとなるよう視覚情報を多く掲示しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		静、動の活動や食事、宿題など活動に応じた場所の提供ができています。危険な場所はカードを貼り、視覚的にわかるよう工夫しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	自主的な訴えに対してはもちろんです。職員の判断で提案提供をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		日程を調整し、可能な限り職員が参加しています。必要に応じて担当者が個別に伝える等のフォローも行っています。	職員同士の勤務時間帯が合わないことがあり、上手く伝達できないことがあります。その為、ホワイトボード等活用し、手く伝達できるよう改善していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表を基に共有する会議をもち支援に対する保護者のニーズに応えられるよう努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的に会議をもち、それぞれの視点から意見を出し合っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法人内研修年3回、原則全員参加としています。その他にも日常の業務の調整を行い、外部の研修にも積極的に参加しています。		
適切なサ	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムは作成し、ホームページに公表しています。また、定期的に見直しをし、必要に応じて変更をしています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		家庭、学校等の様子も情報共有を密にすることで把握し、実態に沿った作成が出来るようにしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		保護者の了解を得て、諸検査のフィードバックに同席させてもらったり、検査結果を提供してもらったり等し、客観的な情報も参考にさせてもらっています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		子どもの人生を長期的に見据え、成長段階に寄り添った支援内容を設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		個々の療育内容については担当者が立案し、複数の職員がサポートすることで実施しています。		

へ 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		子供の成長や変化に対して職員間での共有を行い、実態に応じて柔軟に活動内容が変更できるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		レクリエーションを毎日計画しています。集団参加が難しい方へは個別に活動内容に沿った内容に変更するなど、集団への促しとしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	朝の打ち合わせで、担当者より活動内容の伝達、提示等を共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	情報共有をおこなっています。個々の目標に沿った評価を行い、日誌の中に記録として残す共有を図り、今後の支援に対する手立てを考えています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援終了時にその日の様子や支援方法など記録をとっています。記録は必ず取り、必要に応じて職員間で速やかに共有し、支援を工夫、改善しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		保護者の要望もくみ取り、成長、実態に応じた見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		主体的にスケジュールが決定できるよう支援をしています。視覚化し、自ら確認ができるツールとして活用しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		該当の子のみならず、全体的な把握が出来るものが参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		日頃より学校の担任や管理職との情報共有は密におこなうようにしている。必要に応じて、医療機関への受診に同行しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		就学のタイミングで情報共有会議をおこなっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		施設支援を有効に活用し、専門家のアドバイスをもらっています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		長期休暇を利用して、地域の児童クラブと交流する機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	今の段階では国東市に子ども部会がない為、自立支援協議会には理事長のみの参加となっています。	今後は各部所の責任者が参加して、より具体的な協議が出来るようになる事が望ましいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		支援内容や様子ををより具体的に伝えられるよう、担当した支援員が送迎担当の職員へ情報を共有しています。	
保	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		ペアレントプログラムの参加を促しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		保護者にアセスメントを記入してもらうことで、家庭での様子や保護者の望む子どもの姿など細かく把握するようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		個々に対面で説明をしています。質問、要望等にも迅速に対応できるようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて関係機関に情報提供を行い、適切な対応が出来るようにしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会の参加を促すために、親子で楽しめるレクリエーションを企画するなどの工夫をしています。	きょうだいの交流に関しては、ニーズに応じて今後検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		窓口を一本化し、丁寧な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		サポートが必要な保護者に対しては、追加で個別に分かりやすく伝えるようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	年に一度、秀深まつりを開催し、幅広い年齢層の方々が楽しめる企画を準備して地域の方を招いています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		発生を想定した上で、職員間で役割分担を行い実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定し、非常災害対策委員会や衛生管理委員会等各委員会で話あった内容を職員間で共有し、法人内研修で理解を深められるよう努めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		服薬の変更なども確認し、薬の説明などのコピーをさせてもらい保管しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		定期的に火災や地震を想定した避難訓練をおこなっています。また、警察署見学や駐在所の方に来ていただき、交通安全講話や、身の守り方のお話をいただいています。	今後、避難訓練として、家族への引き渡し訓練等も検討していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	安全計画を作成し定期的に見直しています。また、作成した計画表は、玄関の掲示板に掲示しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	環境調整や人員配置など、判断の材料に活用していません。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止委員会を設置し、研修や啓発ポスターの作成、掲示などを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		対象となり得る子どもについては、保護者への説明を十分に行い、理解、了解を得ています。	